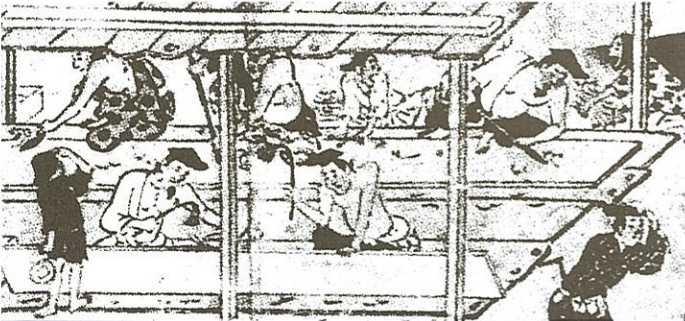
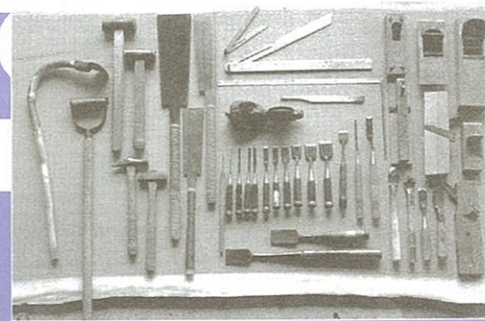
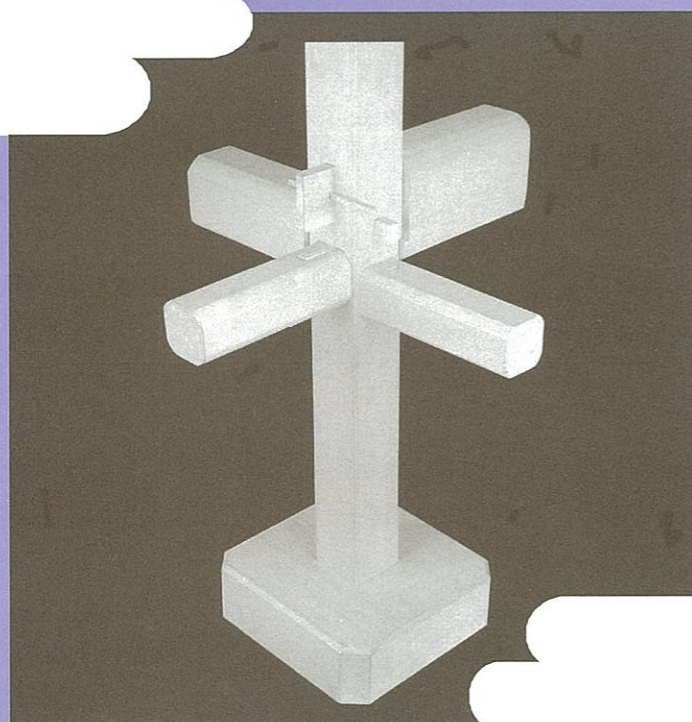




石山寺 縁起 卷一第三段より 一部抜粋



大工の道具



伝統技能の継承

越後村上 古建築研究会

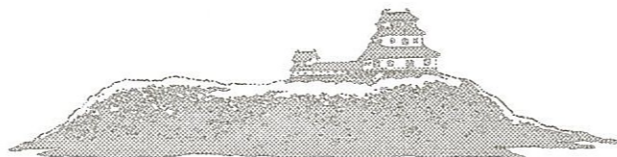
越後村上 古建築研究会

◆所在地

新潟県村上市南町2-10-48

◆古建築研究会 発足

平成6年10月



◆活動概要

新潟県村上市地方は早くから城下町として古くから栄え、今も歴史的建造物が数多く残されております。しかし近年建築生産工法の急速な変革や新材料等の開発また、建築基準法等の法規制によって、伝統的な建造物が多数失われて行く昨今何とか伝統的技術だけでも保存継承して行きたいと思い、趣旨に賛同した職人等により結成された会で、伝統建造物の調査や解体される部材サンプルの保存や、また、伝統的技術保持者からの聞き取り調査、編集と担い手研修会の実施を主にボランティア活動として実施しております。

会員各位もこだわりを持って伝統工法をいかした家屋作り等を実践しております。

◆構成員

大工職 4名	設計士 1名	木製建具職 2名	塗師職 2名
左官職 1名	材木商 2名	石工職 2名	塗装職 1名
縫箔師 1名	表具師 1名		

◆準構成員

板金職 1名	左官職 1名	屋根瓦職 1名
--------	--------	---------

◆活動費

基本的には年会費1名5,000円×17名で活動し不足の時には臨時徴収しこれにあてる。

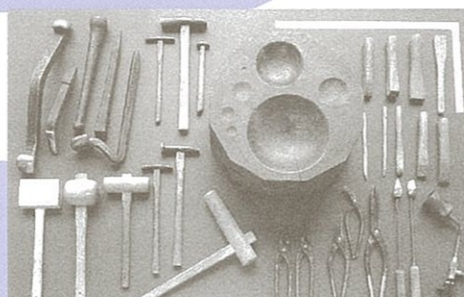
準構成員の活動費の納入は事業に参加したときのみ実費を納入する。



石工の道具



建具の道具



板金の道具

活動記録

旧渡辺家住宅 調査 (村上市コミュニティデイホーム)



建物調査報告書

調査物件名 旧渡辺家 住宅
調査 場所 村上市鍛冶町2番3号
所 有 者 村上市
調査年月日 平成10年4月11日
建 物 概 要 建築年月日 昭和9年8月28日 上棟(棟札有) 築後63年
町屋造りで今回の調査により見えがかりに解体番付けが見られ
検討の結果、解体再移築された建物と判断された。後日の
調査により塩町にあった、米屋、板垣 佐一郎氏の家宅を
渡辺 吉太郎氏が買い取り現在地に移築したことが判明した。
しかし当初いつ建築されたかは不明である。

建物の仕様

ミセ ドマ大きい吹き抜けの茶の間、奥座敷、中庭、一間巾の通り土間、等 当初
米穀商を営んで居た大商いの商家の名残がよく残っている建物である。
下屋軒高252cm 本屋軒高465cmで当時の村上では一般的な軒高である。
また建物芯と棟の芯の位置を45cm ずらしてあるが、当時は棟割りにする縁起
が悪いと嫌ったのである。これもこの地方特異なものである。
基礎は布状に切石を並べ土台が地面より12cm上がり低いのも当時は一般的な
物である。

大滝家住宅 調査



建物調査報告書

調査物件名 大滝家住宅 1棟 土蔵 1棟 作業倉 1棟
調査 場所 村上市塩町7番19号
所 有 者 大滝 昭治
調査年月日 平成12年11月8月
建 物 概 要 建物は住宅、土蔵、作業倉の三棟からなり典型的な商家町屋の
構成がなされている。住宅部分は主に店舗、住居、で構成し
土蔵は貴重品、什器等の収納庫。作業倉は土蔵造りで当初は
醸造用の倉として使用。戦後改装して工場として使用。
建造 年代 各棟 棟札あり
住 宅 明治 8年 1875 土 蔵 明治 6年 1873
作業倉 明治12年 1879*

この度の建物調査では建物の銘板ともいわれる、棟札が幸いにも三棟とも存在し
ていたことである、また建具の部材よりも墨書が見つかり、これらにより建築年代、
建主、工事関係者 時代背景等が解明される貴重な資料となり、調査に非常な手
助けになりました。

* 今回の調査の作業倉には幕末時代の棟札が重ね札として残っており現在の倉
は建て替えたことが判明された。

有明山 最念寺 調査

建物調査報告書

調査物件名 有明山最念寺「弁財天堂」(村上市指定文化財)
調査 場所 村上市肴町4-26
所 有 者 最念寺
調査年月日 平成10年8月9日
最念寺沿革 当初、平林城主色部氏の祈願所として、有明村に建立されたが、
天正年間火災に遭い、縁起その他焼失、開基不詳。
寛永年中、城主堀丹後守直奇により、有明村、助瀨村に寺領を
寄進され再興されるが、本多能登守忠義に寺領などを召し上げ
られ、寺の存続ができず、廃絶となる。その後、現在地に移築
されたと伝えられる。
有明山の山号は、有明村に因むものか。
堀氏再建、本多氏廃寺}1632年~1643年=約20年
木造2間半四方面、萱葺き屋根、移築・再建時、本殿(神座)部分
を増築したと推定される。
移築、再建

建 立 年 代 構 造

痕 跡 内 陣

内陣と拝殿の境とする棟持柱2本、半柱2本に当初の敷、鴨居、蹴込板等の痕跡
がある。当初、神座は内陣に設けられていたと推定される。

屋 根

当初は茅葺きの寄棟造りで、向拝部分のみ流れ造りになっていたと推定される。
軒は二軒きとなっている。

本堂の丸桁は松材で、本殿部分(増築)丸桁は樺材である。

小 屋 組

当初材と推定される梁、隅木が見受けられる。比較的新しいと思われる材木もあり、
太鼓落しの野梁等は当初材が傷んでいたため、補強材として使用したと思われる。
また束、檼等も新材使用が見られる。

茅葺き屋根は又首までは当初材で、他は再築時新材に取り替えたと思われる。



活動記録

美術館 旗籠門 調査・改修



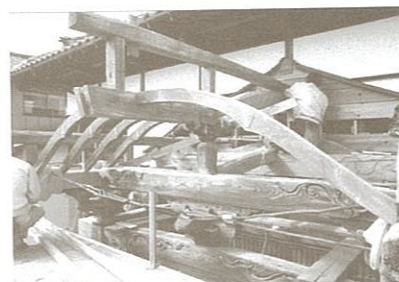
建物調査報告書

調査物件名 美術館 旗籠門
調査場所 村上市小町1番3号
所有者 渡辺 ユキ
調査年月日 平成12年2月～4月
調査概要

この建物は、当初、旅館に出入りする時の門として建てられた建物で、間口三間、奥行き一間と一尺五寸の物件である。建設年代は、明治の後半から、昭和の初め頃と推定される。現在物置として使用されているが、昭和40年頃までは「烏与」と言うラーメン屋さんが店として借りていたもので、そのための改造や壁や天井はベニヤ板を貼り、ペンキ塗りとなっていた。その後の調査で旗籠門の時の扉や、壁の漆喰がまだそのまま残っていることが確認できた。また、道路側に一尺五寸増築していることもわかった。

- (1) 由緒沿革：旅館の来客用の門として建てられた。
- (2) 建築年代：特定不能

妙性寺 大門改修



建物調査報告書

調査物件名 妙性寺 大門改修工事
調査場所 村上市小国町5番9号
所有者 妙性寺
調査年月日 平成15年4月～5月
調査結果

工事内容

現状調査と修繕方法の提案を行い、そのまま工事を会員メンバーが請け負った。屋根瓦を撤去し、唐破風の取替、葛浦桁の不良部分撤去と補強、下り下魚の復旧、その他全体の傾がりの修正等

平成13年9月
価値ある住まいまちづくり
フェスティバルin村上に参加



平成14年1月 東中学校生徒に講義

活動記録

建築フェアに参加

参加行事名 村上市・岩船郡建築フェア
 行事年月日 平成17年2月25日、26日
 出展内容 当研究会の今迄の活動記録の展示及び古材の利用法や地域の伝統工法のすばらしさを紹介。



専門学校生徒研修

物件名 工科専門学校生徒の研修
 行事年月日 平成18年12月8日
 場所 村上地内最念寺及び市内町家
 研修の概要 地域に伝わる伝統工法技術の実物を見ながら今の工法と昔の工法のちがい等、又、材料の使い方等生徒に説明する。

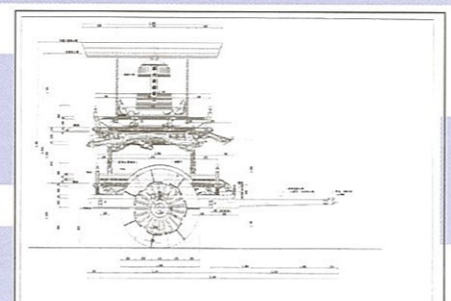
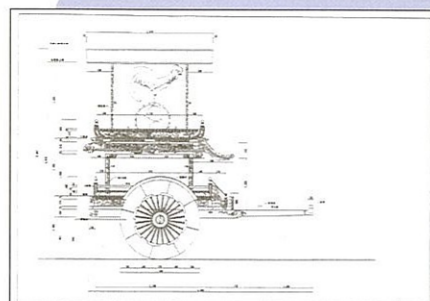
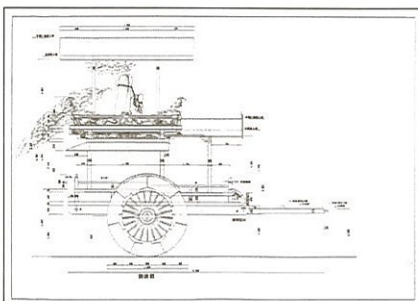


村上大祭シャギリ 12台調査

建物調査報告書

調査物件名 大祭屋台12台
 調査場所 村上地内
 所有者 各町内
 調査年月日 平成18年7月4日～平成19年3月31日
 物件概要

村上市旧町人町に3百数十年前からつたわる伝統の村上大祭で曳きまわされる屋台で、全部で19台あるが、図面のない町内のもの12台分の調査と図面起こしを依頼される。シャギリは大祭の為に前日又前々日に各町がいっせいに組立てるもので組立完了のあと、2日間の曳き廻し後翌日に小ばらしし収蔵庫に収納される。その為調査期間が限定され、分きざみのスケジュールの中実測調査は実施された。



活動記録

片町シャギリ製作受託



受託物件名
注文者
所有者
工事期間
物件概要

片町大祭屋台改修

片町区 区長

片町区

平成19年5月1日～20年6月30日

村上市片町区に伝わる伝統の大祭屋台の全面改修である。彫は富山県の井波の彫職人に、漆塗りは町内在住の3人の塗師さんに、母体となる本体部分を我会、古建築研究会で製作を担当し進められた。

既存の屋台で再利用できる部分は加工し直して再利用する方法で行なった。

写真上は素地の状態で仮組を行なって全体のバランスを確認しているところです。

下の写真は完成祝いで屋台をバックに町内の人達が獅子舞を踊っているところです。



経歴及び活動状況

平成4年

日本住宅、木材技術センター主催の
「木造建築担い手研修」に参加

平成5年

全国町並みゼミ川越大会参加

平成6年

建築士関東ブロック大会小布施町並見学

全国町並みゼミ須坂大会参加

村上城主内藤公菩提寺

光徳寺本堂改修工事に構成員参加

建築修復学会員IN村上に参加

古建築研究会 発足 会員数9名

村上市新町（旧武家町）に建設の中島邸住宅を
通して当地域に継承されてきた伝統工法や
意匠を研修実践する

平成7年

村上市文化財 成田邸住宅（武家屋敷）

復元工事を通して伝統工法、実践研修 市発注
構成員受注工事する

富山県八尾市、城端町の町並みや高岡市の

瑞龍寺（国重要文化財）修復工事研修

村上市小国町 おしゃぎり（祭り屋台）

解体修理構成員参加

村上市まちづくり推進協議会

「住まいづくりの手引き書」町屋編

意見を聞く会参加

平成8年

県主催「ふるさとのかおる木の住まいコンクール」
に参加しまちづくり活動部門賞 受賞

北蒲原郡天王 市島邸震災復旧と水原陣屋に
ついての研修会 講師 山崎 完一 氏

山北町小俣地区建物調査参加

村上市寺町 浄念寺（国重要文化財）修復工事

記録の左官工事撮影の8ミリをみる会を開く

平成9年

新潟市 斉藤邸（燕喜館）再建工事現場研修会

土曜大学セミナー 建築家 降旗 廣信氏 講演

木造フォーラム 弥彦 竹石邸参加

全国町並みゼミ 村上大会に参加

古材バンクの会 仙台大会に参加

燕喜館完成、石の静楽苑視察

古材バンクの会に正式入会

経歴及び活動状況

平成10年

村上市文化財 藤基神社修復工事構成員工事
現場研修会
新津市文化財妙蓮寺山門修繕工事に構成員参加
村上市所有 鍛冶町旧渡辺邸調査 成果書作成
市に寄贈
村上市加賀町 渡辺邸解体にあたり調査、
古材収集保存
村上市文化財 最念寺調査、成果書作成し
最念寺、村上市に寄贈
文化財ネットワーク21「糸魚川木づくりの里」
研修に参加

平成11年

村上市文化財 杉原 佐藤家住宅（旧武家屋敷）
調査解体保存
市発注 構成員受注工事する
神林村下助瀧 築後80余年農家中門部分
調査解体保存
文化財ネットワーク21「川西大会」参加
於 長岡造形大学教授 宮澤 智史氏宅にて
村上市上町 鈴木邸住宅解体保存
村上市大町 味匠きっかわ、店舗
保存古材再利用にて改修
村上市寺町 国重要文化財
浄念寺車庫建て替えにあたり
地域景観に考慮して 漆喰塗籠形式とした
倉庫に建て替える
仙台青葉城石垣積研修
村上市社会教育課文化行政係同道

平成12年

長野県信州大学教授にNPO長野県の活動
また古建築についての取り組みかたについて
指導を受ける
村上市指定文化財 藤基神社向拝唐破風屋根
修繕工事に構成員従事
光徳寺庭園改修 「文建協」賀古唯義氏指導にて
ボランティア作業
光徳寺 落縁改修工事構成員従事する
塩町大滝邸村上市より調査委託をうけ
調査報告書作成し提出。
同上解体材整理保存する。

平成13年

家屋調査 柏尾2件 瀬波1件
構成員山辺里光徳寺改修工事に従事
構成員坪根大山祇神社改修工事に従事
村上市指定文化財最念寺覆屋工事
最念寺より依頼を受ける
住宅フェアに構成団体として協力する事に
協議のうえ決定

平成14年

村上市東中学生徒班学習の講義
職業訓練校特別講習会(古建築に学ぶ)に参加
都岐沙羅パートナーズセンターのオークションに参加
村上お城山石垣研修実施
最念寺基礎調査
家屋調査2件 村上1件 朝日村1件
日本ナショナルトラスト調査協力
関川村まちなみ研修に参加

平成15年

妙性寺 大門改修工事 設計及び施工請負
町屋の調査及び改修の設計、見積を請負
最念寺茅屋根撤去作業の実施

平成16年

村部家住宅解体調査実施
上町鈴木宅家屋調査実施

平成17年

村上市建築組合、建築士会、郡組合 建築フェア
にブースを出展する。
村上市まつり保存会より12台のシャギリ図面作成
とその調査を受託し約1年間かけ業務を完了した
群馬県古材ストック業者視察
最念寺仮設屋根の修繕実施
最念寺に新潟工科専門学校の生徒研修授業実施
生徒数約50人

平成18年

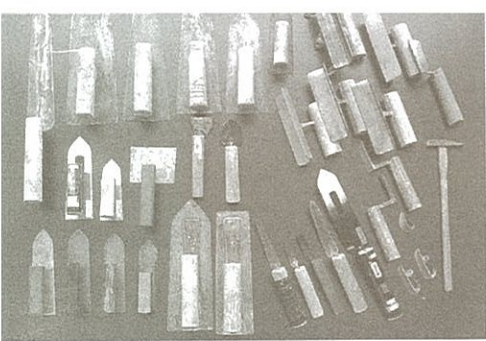
片町区よりシャギリ調査依頼あり作図行う
村上市指定文化財等解体部材移転業務請負する

平成19年

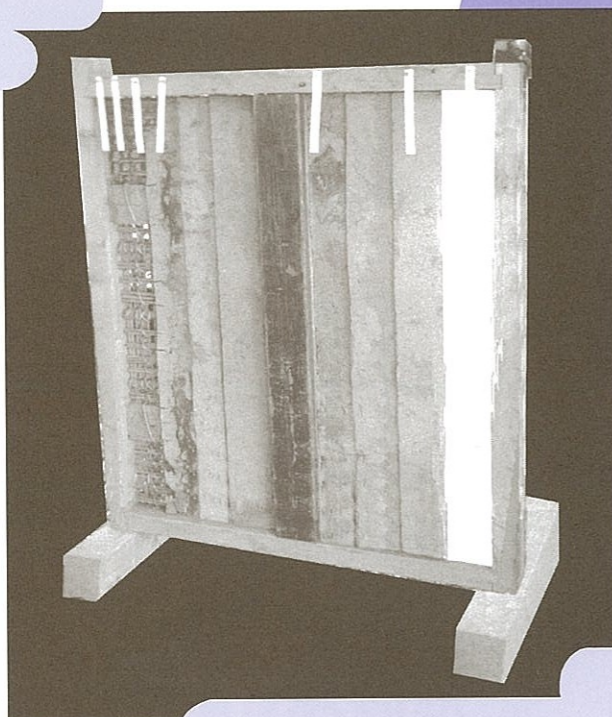
片町区よりシャギリの作成依頼受託 平成20年6月
完成予定でスタートする。シャギリの彫を富山県
の井波に出向き打合せを進める。5月に現存のシャ
ギリを保存解体し再使用できる部材を確認する。
11月に素地状態での仮組を実施し町内に披露
村上上町のシャギリ屋台の図面作成を受託する
鶴岡市羽黒町の渡部工業に再生現場の研修に行く

平成20年

片町区シャギリ7月4日本組し7月6日・7日の大祭で
曳き廻しする。無事引渡す。
井波の彫師高野さんも大祭で曳き廻されるシャギリ
を見学する。



左官の道具



越後村上 古建築研究会

新潟県村上市南町二丁目十番四十八号
電話/FAX 0254-53-0669